

## 教育民生建設観光委員会会議録

1. 日 時 平成25年5月24日(金曜日)  
午前11時35分~午後0時10分
2. 場 所 委員会室
3. 出席委員 岩本明央委員長 俵 薫 副委員長  
徳並伍朗委員 荒山光広委員  
下井克己委員 萬代泰生委員  
岡山隆委員 秋枝秀稔委員  
猶野智和委員 秋山哲朗議長
4. 欠席委員 なし
5. 出席した事務局職員  
石田淳司 議会事務局長 岡崎基代 議会事務局補佐  
大塚 享 議会事務局係長
6. 説明のため出席した者の職氏名  
村田弘司 市長 林 繁美 副市長  
篠田洋司 市長統合戦略局長 藤澤和昭 総合観光部長  
繁田 誠 総合観光部観光総務課長 綿谷敦朗 総合観光部観光振興課長  
福田和司 市民福祉部長 三浦洋介 市民福祉部地域福祉課長

午前 11 時 35 分開会

委員長（岩本明央君） 只今より教育民生建設観光委員会を開会いたします。本会議におきまして本委員会に付託されました議案 2 件につきまして、審査いたしますので、御協力をよろしくお願い申し上げます。市長さん何かございますか。

市長（村田弘司君） 別にありません。

委員長（岩本明央君） 議長さん。

議長（秋山哲朗君） 特にございません。

委員長（岩本明央君） 最初に、議案第 8 号平成 25 年度美祢市観光事業特別会計補正予算（第 1 号）を議題といたします。執行部より説明を求めます。はい、繁田観光総務課長。

総合観光部観光総務課長（繁田 誠君） 議案第 8 号平成 25 年度美祢市観光事業特別会計補正予算（第 1 号）について御説明いたします。

本議案は、前年度となる平成 24 年度観光事業特別会計において、決算見込みにより歳出に対し歳入が不足することが判明したため、地方自治法施行令第 166 条の 2 の規定に基づき、現在の平成 25 年度観光事業特別会計の歳入を繰り上げて、これに充てるための予算補正を行うものです。

それではまず、今回の予算補正の原因となりました、前年度、平成 24 年度の観光事業特別会計の決算見込額につきまして御説明申し上げます。

最初に単年度収支としまして、歳入見込額を 6 億 9,798 万 4,041 円とし、歳出見込額を 4 億 3,546 万 4,916 円と見込むことから、単年度収支では、2 億 6,251 万 9,125 円の黒字決算となる見込みであります。

しかしながら、その前年度の平成 23 年度の累積赤字に対する繰上充用金として 7 億 3,373 万 4,279 円を支出したことから、その差し引き 4 億 7,121 万 5,154 円、歳入が歳出に対して不足することが見込まれております。

これを受けまして、本年度、平成 25 年度の観光事業特別会計を議案のとおり補正することといたしております。

平成 25 年度美祢市観光事業特別会計補正予算（第 1 号）のページ 8 - 10 をお開き下さい。

はじめに、3 歳出の下段、5 款前年度繰上充用金・1 項前年度繰上充用金、補正額 4 億 7,121 万 6,000 円の追加です。

先ほど説明しましたように、前年度の平成 24 年度予算に 4 億 7,121 万 6,0

00円の歳入不足が見込まれるため繰上充用するものです。

続きまして、歳出の4款予備費・1項予備費、補正額2億4,300万円の減額でございます。これにつきましては、平成25年度当初予算において、予備費として、2億5,032万3,000円を計上しておりましたが、このたびの歳入不足額4億7,121万6,000円に対応するための予算措置として、2億4,300万円の減額を行うものです。

続きまして、前ページ8-8をお開き下さい。2歳入として、6款諸収入・2項雑入・目2歳入欠陥補填収入、補正額2億2,821万6,000円を追加するものです。

これは、歳出で御説明申し上げました前年度繰上充用金4億7,121万6,000円から、予備費の2億4,300万円を差し引いた差額2億2,821万6,000円を歳入欠陥補填収入として補正計上するものです。

以上が、今回提案した補正予算案であります。ここで、今回の補正理由である平成24年度美祢市観光事業特別会計決算見込みにつきまして、御手元にお配りしております資料に基づき、その内容を御説明させていただきます。

はじめに、歳入から御説明申し上げます。歳入区分としまして、秋芳洞、大正洞及び景清洞、養鱒場、そしてリフレッシュパークの施設ごとに4区分としております。歳入見込額の小計を歳入欄の下から3行目に集計しております。各施設区分の内訳としまして、秋芳洞6億1,672万8,254円をアとし、大正洞及び景清洞2,829万5,739円をイ、養鱒場1,683万8,401円をウ、リフレッシュパーク3,612万1,647円をエと示しております。

以上ア～エを合計した歳入小計額6億9,798万4,041円をオとしております。

続きまして、歳出について御説明をいたします。中段小計(B)になりますが、区分としまして観光総務費の一般管理費1億6,744万9,279円を とし、次に施設管理費2,219万3,281円を としております。区分の業務管理費の秋芳洞管理費7,827万8,579円を 、大正洞・景清洞管理費として、2,453万4,525円を 、養鱒場管理費1,945万3,912円を とし、リフレッシュパーク管理費5,546万3,775円を としております。

続きまして、区分観光振興費の一般管理費6,338万4,090円を 、台湾交流拠点施設事業費470万7,475円を としております。

以上 から を合計した歳出小計額4億3,546万4,916円を としております。従いまして、先ほど御説明を申し上げました平成24年度単年度収支は、歳入小計額であるオ6億9,798万4,041円から歳出小計額の 4億3,546万4,916円を差し引いた2億6,251万9,125円の黒字見込みとなります。

平成24年度の歳入不足額ですが、歳出小計額 4億3,546万4,916円に前年度繰上充用金7億3,373万4,279円を加えた歳出の合計額は11億6,919万9,195円となります。

よって、歳入合計額オ6億9,798万4,041円から歳出合計額11億6,919万9,195円を差し引いた4億7,121万5,154円が平成24年度の歳入不足額として見込まれるものであります。

最後に財政健全化計画との比較につきましては、財政健全化計画上は、平成24年度の歳入不足額を4億1,648万8,000円としておりますことから、平成24年度決算見込みでは、4億7,121万6,000円となり、よって5,472万8,000円の未達ということになります。

財政健全化計画では、平成26年度において、累積赤字の解消を予定しております。従いまして、今年度末の累積赤字額4億7,121万6,000円を残り2年間で解消することとなります。単年度になおしますと、約2億3,560万円の単年度黒字額が必要となります。平成24年度の単年度黒字額は約2億6,251万円です。平成24年度の支出の内、単年度限りの特別な費用は特にありませんでしたので、今後個々の歳出の削減によりいっそう努め、平成24年度の黒字幅を最低限維持する必要があります。

また、平成26年度予算編成時期であります平成25年12月に平成25年の決算見込みを立て、計画どおり確実に平成26年度での累積赤字解消を可能とします予算案を作成し執行する考えでございます。

なお、参考資料としまして、3洞の入洞者数の集計表をお配りしておりますので、ご覧いただければと思います。以上でございます。

委員長（岩本明央君） はい、説明が終わりました。本案に対する質疑はございませんか。はい、岡山委員。

委員（岡山 隆君） 今御説明がありまして、平成26年度中には要するに今までの観光事業特別会計における累積欠損金がゼロになるという説明がありました。それで、2年後にはゼロなんですけれども、そこを見据えてのですね、今後秋吉観光戦略

についての行政としての成長戦略、どのような方向性で行くか、何かそういったビジョンというものがあると思いますけれども、その辺について御説明をお願いします。

委員長（岩本明央君） 手を挙げてすみません。はい、繁田観光総務課長。

総合観光部観光総務課長（繁田 誠君） 岡山委員の御質問にお答えしたいと思えます。平成26年度での黒字達成を約3,000万円から5,000万という形で見込んでおります。その見込額につきましてはですね、歳入につきましては、当面振興策を十二分に練り、観光振興課、今年4月から発足しました一般社団法人美祢市観光協会との連携を密にして、振興策を図りながら収入増は当然見込んでいくわけですが、現在の歳出抑制を引き続き行いまして、現在の黒字額を基本的には維持しながら歳入を伸ばす計画でございます。以上です。

委員長（岩本明央君） よろしいですか。はい、岡山委員。

委員（岡山 隆君） ざっくりの説明ありがとうございました。いずれにしても、市長の戦略室とそして総合観光部との連携で、今後新たな観光事業における成長戦略は組まれて行っていくと私は期待しております。

それですね、今回美祢市では4月から市の職員、そして市議会議員、市の観光協会職員を対象としてですね、観光名所であるこの秋芳洞等3洞を中心に、この観覧料が半額券がついた名刺を配っております。今私と皆さん議員全員持っておられると思います。これ反対に書いてますけれども、普通観覧料半額割引券、2年間この有効ということで非常に私も昨日ですね、神戸から来られた方、そして、愛知県から来られた方、この方に関してしっかりと半額料をですね、差上げまして非常に喜んでおられて、また行きましょうという、そういったお話を聞きました。非常にインパクトのある名刺の普通観覧料半額券であったと思います。

こういったところも一つの美祢市の成長観光事業の成長戦略に私はつながっていくのではないかと考えております。今後これによって、観覧者数の統計まだ出てないということでもありますけれども、この2年間で私は多少なりとも変わっていくのではないかと考えております。

たまたまですね、昨日公明新聞に5月23日、山口美祢市ということで今私が申し上げたようなかたちですね、6面に4割程度。（発言する者あり）普通であれば100万程度かかるような宣伝料がタダですね、これ全国50万部発行してますからいろんなところ見られてですね、また秋芳洞に行ってみようっていう方が、私は増えてくるんじゃないかとそのように期待しております。

今後この2年間ということで、ますます観光に来られる方が増える減るということはあると思いますけれども、今後増えたらさらに、この2年間を延長するのかわか、その辺の今後の捉え方についてはどのようなお考えでしょうか。お尋ねします。  
委員長（岩本明央君） はい、村田市長。

市長（村田弘司君） 岡山委員、今公明新聞見せて頂いて非常に嬉しいです。素晴らしい、全国版にこんなに大きく記事として、秋吉台、秋芳洞の集落そして、半額券ですね、ありがたいですね。

今、今後の歳入歳出動向によって、財政健全化2年を伸ばすことがあるかということですが、ないですね。というのがですね、間違いなく今年度と来年度で、合併時に15億7,000万約15億7,000万累積赤字があったんですよ。それを今、きょうお示ししましたようにですね、24年にもう4億7,000万まで圧縮、ですから、11億円、この5年間で約11億円の赤字を解消してきたということです。ですから、今後この2年間にですね、先ほど担当課長のほうから御説明しましたけれども、間違いなくこの計画通り累積赤字を全てなくして、今後はですね、毎年2億から3億の黒字を出してますからここまでですね、これを地域振興なり観光振興に結びつけていこうという思いがあります。

また、ジオパークのこともありますしね、国際交流のこともあります。昨日もシンガポールから実は取材に来られて、秋吉台、秋芳洞を見て帰られました。非常に感動して帰られたということですね、今後も東アジアと言いますけど私よく、東南アジアの方からもですね、沢山の人を導き入れたいというふうに思っております。以上です。  
委員長（岩本明央君） はい、岡山議員よろしゅうございますか。そのほかございませんか。はいどうぞ、荒山委員。

委員（荒山光広君） 今岡山委員の方から割引券の名刺の話が出ましたので、その他の項でやろうと思ったんですけど、せっかく今話が出ましたので具体的にですね、もうすでに使われているかたもおられると思いますけれども、その窓口での処理の仕方といたしますか、その辺がどういうふうになっているのか、と言いますのも、この名刺が何回でも使えるということで、窓口に提示をして持って帰られると思うんですね。その時の窓口での現金の差額、その辺の処理についてですね、どういうふうなことをやっておられるのか、その辺についてお尋ねしたいと思います。

委員長（岩本明央君） はい、綿谷観光振興課長。

総合観光部観光振興課長（綿谷敦朗君） 荒山委員の御質問でございます。今現在で

すね、その半額割引の利用者数、5月15日現在ですが、202名の方が割引券を利用して入洞をされております。

この処理の仕方と言いますのは、持って来られた方、割引券通常半額割引の備考欄に計上しまして、何名の方がこれで名刺で入られたという統計を各入口のほうでとっております。それを3カ月、半年、第1、第2半期等で締めていきまして、これからしっかり検証していきたいというふうに思っております。以上でございます。

委員長（岩本明央君） はい、荒山委員。

委員（荒山光広君） 当然集計はしておられると思いますけれども、その集計の仕方です、例えばその半額にしたという証拠と言いますか、その辺が残るようなことになってるのか、と言いますのがその名刺を渡されれば、これで入られましたよというのが分かるんですけど、その辺のチェックです、その1枚で5名とかです、3名とか、5名までですからね、その2名入られた、3名入られた、その辺の証拠と言いますか、その辺のチェックがどういうふうになっているかです。

委員長（岩本明央君） はい、綿谷観光振興課長。

総合観光部観光振興課長（綿谷敦朗君） ただ今の御質問でございます。窓口の方で名刺1枚につき何名入られたという統計は取っております。以上でございます。

委員長（岩本明央君） はい、荒山委員。

委員（荒山光広君） 当然統計取っておられますけど、悪い言い方すれば、その帳面に名刺は提示されてないけど、今日3名入られましたよってということで、こういうことではないと思いますけど、半額ちょっとねということが可能性として、あってはならないことなんですけど、今後その事故防止のためにですね、その辺のチェックの体制、いわゆる証拠ですね。何ていうか言う意味分かりますかね。やから統計的にはね、今日何名入られましたよっていう数字は記入されますけど、その数字がその本当に名刺を提示されたかどうか、その名刺を置いてかれば分かるんですけど、その辺のチェックがどういうふうになっているかということです。

委員長（岩本明央君） はい、綿谷観光振興課長どうぞ。

総合観光部観光振興課長（綿谷敦朗君） ただ今の御質問でございます。窓口のほうでは複数人でチェックをしておりますことと、どなたの名刺を持って来られて、それで何名入られたかという統計も取っておりますので、委員御指摘のようなことはまずないというふうに考えております。以上でございます。

委員長（岩本明央君） はい、荒山委員。

委員（荒山光広君） 私もないとは思ってますけど、人間のやることですからその辺の仕組みをですね、もう少し精査されてお互いに不正のないような形でですね、再度検討して頂けたらというふうに思います。以上です。

委員長（岩本明央君） その他ございませんか。はい、秋枝委員。

委員（秋枝秀稔君） 私もその他の項でお聞きしようと思っておったんですが、出ましたんで。今年ですねゴールデンウィークでですね、非常に天気も良かった、国内旅行も最高ということですね、今年の入洞者は非常に気になるんですけど、この辺の数字がありましたらですね、ここで教えて頂けたらというふうにちょっとお願いいたします。

委員長（岩本明央君） はい、繁田観光総務課長。

総合観光部観光総務課長（繁田 誠君） 秋枝委員の御質問にお答えします。新聞報道等によればですね、まず、中国管内で言えば自動車道の開通、それと御存知のとおり広島の子博によりまして広島県、それと鳥取、出雲、松江地方が大幅に伸びたという報道を目にしております。また、他の新聞によりますと山口県でもかなり健闘して来客って言いますか、訪れた観光客数は増加傾向にあったという新聞報道を見ております。さて、美祢市が誇る3洞につきまして、現在データが届いているものにつきまして御報告をします。最初に秋芳洞ですが、3万8,283人、昨年比残念ながらマイナス9.6%、景清洞1,551人マイナス0.2%、大正洞1,109人マイナス11.3%、ほかに弁天池、養鱒場関係4,320人昨年比12.9%、サファリランドにつきましては3万9,057人で、昨年比1.5%の伸びとなっております。

今年のゴールデンウィークの分析としましては、前半3連休の後、平日を3日挟んだことによりまして、前半の3連休が通常の3連休、といった感じに受け止められたのではないかと推測しております。そのことで実質のゴールデンウィークは後半4連休となりまして、最終日を除く3日間に観光客が集約されたものと判断しております。また、あまりにも好天に恵まれすぎたことによりまして、鍾乳洞観光というよりも、むしろ屋外型レジャー中心の動向ではなかったかと分析しております。以上です。

委員長（岩本明央君） はい、秋枝委員。

委員（秋枝秀稔君） 大変説明ありがとうございました。よく分かりました。確かにですね、連休の間挟みましてからですね、確かにその辺があると思います。また、頑



張って頂きたいというふうに思います。以上です。

委員長（岩本明央君） そのほかございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（岩本明央君） それでは本案に対する御意見はございませんか。特に反対意見はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（岩本明央君） それではこれより議案第8号平成25年度美祢市観光事業特別会計補正予算（第1号）を採決いたします。

本案のとおり決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（岩本明央君） 全員異議なしと認めます。よって議案第8号は原案のとおり可決されました。

次に議案第9号平成25年度美祢市住宅資金貸付事業特別会計補正予算（第1号）を議題といたします。執行部より説明を求めます。はい、三浦地域福祉課長。

市民福祉部地域福祉課長（三浦洋介君） 議案第9号9-1ページでございます。平成25年度美祢市住宅資金貸付事業特別会計補正予算（第1号）について御説明いたします。

これは、平成24年度決算見込において、歳出見込が3,175万2,000円であるのに対し、住宅資金償還金の未納により、歳入見込が202万7,000円となり、差し引き2,972万5,000円の歳入不足が見込まれます。

このため、地方自治法施行令第166条の2の規定により、平成25年度から繰上充用を行うための補正をお願いするものでございます。それでは、平成25年度美祢市住宅資金貸付事業特別会計補正予算（第1号）の9-10、9-11ページをお開きください。

以上によりまして、歳出につきましては、前年度繰上充用金を2,972万5,000円計上し、歳入につきましては、9-8、9-9ページにお戻りください。2款諸収入・1項貸付金元利収入・1目住宅資金貸付金元利収入として、同額の2,972万9,000円を補正計上しております。

以上の補正によりまして、平成25年度美祢市住宅資金貸付事業特別会計における既定予算の歳入歳出それぞれ2,972万5,000円を追加し、歳入歳出予算それぞれの総額を3,153万7,000円とするものでございます。以上よろしくお願

いたします。

委員長（岩本明央君） 説明が終わりました。本案に対する質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（岩本明央君） それでは、本案に対する御意見はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（岩本明央君） それではこれより議案第9号平成25年度美祢市住宅資金貸付事業特別会計補正予算（第1号）を採決いたします。

本案について原案のとおり決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（岩本明央君） 全員異議なしと認めます。よって議案第9号は原案のとおり可決されました。

以上を持ちまして、本会議で本委員会に付託された議案2件につきましての審査を終了いたしました。それでは、お手元のレジメの3その他の項目で、皆さんのほうから何か御発言がありましたら、お願いをいたします。

先般ジオパークのプレゼンテーションがあったということで報道されておりますが、その辺のことをもし説明なり、様子をお願いしますか。はい、林副市長お願いします。

副市長（林 繁美君） 先日、日本ジオパークのプレゼンテーションがありまして、美祢市も参加いたしました。そのプレゼンに参加された方も10カ所あったわけなんです。市単独が美祢市を入れて2カ所でありました。それぞれ10分間説明をして、10分間審査員から質問を受けるという形で進められました。

美祢市は当然パワーポイント等を持って、めざそうジオパークということで、色を白、黒、赤といったところでプレゼンをやったところです。審査員は学者さんが主体ですので、やはり行政的なところにはですね、ちょっと私としては物足りないところはあったようです。中にはプレゼンに参加された団体の中には、大学の先生等もおられますし、また参画されたところでも大学が先行して手を挙げておられると。行政を今から説得していくということもありました。一応美祢市については、今までセミナーとか講演会等を通していろいろな研修を行ってますし、これからの取り組み等も発表しました。

ただ、審査員から新聞にもちょっと出てましたが、なぜメジャーな秋吉台を前に出さないのかという御質問もありました。しかしながら、説明の中で、20年の3月に

合併して新しく出来て5年目の行政ですから、やはり一体感の醸成ってということで、特定なところは頭出しするよりは、旧一市二町ですね、それぞれ地質的にも特徴があるので、それらを絞って美祢市は取り組んできたっていう説明はいたしました。

今後ですね、今度は9月ですか現地に入られるということです。審査員の方が2名ほど入られるということで、現地視察を行った後、10月に全国大会が隠岐であるということ聞いてますので、そこでもし合格すれば、日本ジオパークの認定がもらえるという形になります。

それと大きな世界ジオパークですが、今ユネスコのメニューなんですけど、今年から正式にユネスコの事業と言いますか、メニューに格付けされたということで、今からまた世界遺産と併せてジオパークの認知度と言いますか、それも上がってくるんではないかと思えます。一応プレゼンの感触は以上でございます。

委員長（岩本明央君） はい、ありがとうございました。何かそのほか、よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（岩本明央君） ないようですので、これにて本委員会を閉会いたします。御審査、御協力誠にありがとうございました。お疲れ様でした。

午後0時10分閉会

---

上会議の顛末を記載し、相違ないことを証するためここに署名する。

平成25年5月24日

教育民生建設観光委員長

岩本明央